

第26回北勢線の魅力を探る「ふじ香る東海道を朝日まで」

開催日:2016年4月3日(土)

参加者:137人

協力:桑名歴史案内人、朝日町歴史博物館、城南神社、久波奈江戸新撰館、ろっ石陶芸館、晴雲寺、すし清、縄生自治会、真光寺、根来美術館、安達仏微笑館、安達本家酒造、西光寺

馬道駅～有王塚・俊寛塚～町屋御用水～了順寺

馬道駅から、まず有王塚へ。解説は地元の桜井克広さん。有王塚は平家物語に登場する有王に関わる伝説の塚である。次に俊寛塚へ。元は現在地よりやや北に建碑され、のちここに移されたものである。



有王塚

益生駅傍の踏切を越え、新地を通り抜けると、町屋御用水の水路がある。町屋川から取水して城下に配水する上水道が寛永3年(1626)建設された。現在は石の護岸に張り替え、ポケットパークとして整備されている。東海道に出て了順寺へ。元和7年(1621)に桑部城主毛利治郎左衛門尉秀重の孫毛利次郎助秀元が開基したと伝わる。山門は桑名城から移築したものである。



了順寺山門

城南神社～久波奈江戸新撰館・ろっ石陶芸館～晴雲寺～すし清

さらに南に進み、伊勢神宮内宮一の鳥居を下賜された城南神社に参拝し、拝殿前で松永栄木宮司のお話を伺った。ここは倭姫命ゆかりの地と伝わる。

「久波奈江戸新撰館」は小さな私設博物館で、浅井清貴館長から話を聞いた。近くにあった江戸時代の商家を解体した時に、古



松永栄木宮司

い建具や階段箆笥などを譲り受け、館内の展示用に利用している。「ろっ石陶芸館」も

小さな私設博物館で、館長の森一蔵さんは前進的な陶芸家であり、且つ桑名の伝統的な萬古焼を独創的に極められ、臙脂釉を復元された。桑名市無形文化財保持者である。



晴雲寺経蔵

晴雲寺では本堂でお庫裡さんから、寺の説明を受けた。大正7年(1918)建立の経蔵があり、

六角形の輪転の棚に大蔵経が収められている。



玉喜

この辺りは東海道の立場であった所で、江戸時代からの「玉喜」は



すし清フジ

古い建物は今も残っているが、無住のようだ。左手の小高い所に文政元年(1818)建立の大きな伊勢両宮常夜燈、明治26年(1893)建立の里程標が今も立っている。さらに進むと町屋川に突き当たる。その先に橋があったが、今は近くの国道1号線の橋を渡ることになる。町屋川畔に料理旅館「すし清」

がある。安政3年(1853)に東海道の茶店として創業した。邸内のフジは樹齢250年以上と言われ、今回のウォークの目玉だ。ちょうど見ごろであった。一時は廃業を考えたが、最近純和風の旅館も珍しいので、断るほどのお客さんが来て下さるとの女将さんの話。

金光寺～真光寺～根来美術館～安達微笑仏館～安達本家酒造

国道1号線の町屋橋を渡って、朝日町縄生の東海道から右に入ると金光寺で、縄生の区長の山上良彦さんと朝日町歴史博物館の浅川学芸員から説明を受けた。元は山手の方にあったが、江戸時代に現在地に再建された。現在は無住である。次は真光寺である。本堂で植村住職のお話を聞いた。ここも元は山手の方にあったが、江戸時代初期に現在地に移った。



金光寺

万治3年(1660)に寄進された松平家の定紋「梅鉢」入りの大手水鉢がある。ここで昼食を済ませた。



根来美術館は今年の4月5日に開館したばかりの、女流画家根来恒子さんの私設美術館である。油絵具で色彩豊かに描かれた遊女の画が多い。向いにある安達微笑



笑仏館では館長の安達正秋さんとそのお弟子さんから解説を聞いた。定年後に仏像彫刻を始められたそうで、沢山の仏像が所せましと並んでいる。次は安達本家酒造株式会社の工場を見学させてもらった。明治43年の創業。

朝日町資料館～朝日小学校～西光寺～若松園～朝日町歴史博物館

朝日町資料館は耐震補強工事のため臨時休館となっていたが、浅川学芸員から説明を受けた。この建物は、大正5年に朝日村役場として現在地に建てられた。昭和53年(1978)11月3日、朝日町資料館として開館。平成12年(2000)国の登録有形文化財指定。



朝日資料館

すぐ目の前に円形校舎が朝日町立朝日小学校である。この校舎は昭和37年、坂本鹿名夫の設計の鉄筋コンクリート造4階建。平成25年に国の登録有形文化財指定。

次に西光寺へ。72歳の住職のユーモアあふれるお話を聞いた。本堂は明治15年落成、半鐘は安永6年(1777)桑名広瀬九朗兵衛道次作。



西光寺

次に「御菓子司若松園」に到着。ご主人の柿澤芳喜氏に話を聞く。和菓子の道具等を展示し、和菓子を通して地域の文化・習慣の一端を紹介している「まちかど博物館」だ。JR線の踏切の手前に稲垣酒造の工場があるが休業日なので通過。

朝日町歴史博物館にて浅川学芸員の説明。展示物は縄生廃寺跡出土の舍利容器一括資料(重要文化財)が目玉。ある参加者がつぶやいていた。「朝日町は、小さな町なのに、沢山の史跡や文化財があり、教育文化施設もあり、うらやましいなあ」



朝日町歴史博物館